

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公開番号】特開2005-12805(P2005-12805A)

【公開日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-002

【出願番号】特願2004-179016(P2004-179016)

【国際特許分類】

H 04 M 1/73 (2006.01)

H 04 M 1/725 (2006.01)

H 04 B 7/26 (2006.01)

G 06 F 1/32 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/73

H 04 M 1/725

H 04 B 7/26 X

G 06 F 1/00 3 3 2 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移動局であつて、

ディスプレイを備えたシャシと、

前記ディスプレイの電力消費を制御するよう構成された電力削減器と、

前記シャシに結合され、前記移動局が着信無線電話呼を受信するときに自動的に起動される近接センサであつて、前記ディスプレイが外部物体の所定の範囲内にあるとき、前記電力消費の削減を引き起こすように構成された近接センサとを備える移動局。

【請求項2】

前記近接センサが、前記ディスプレイの電源切断を引き起こす、請求項1に記載の移動局。

【請求項3】

前記着信電話呼の間に前記ディスプレイが所定の範囲内にあるとき、前記近接センサが、前記電力消費の削減を引き起こす、請求項1に記載の移動局。

【請求項4】

前記近接センサが、

機械的近接センサと、

光センサと、

距離検出センサとからなる群から選択される、請求項1に記載の移動局。

【請求項5】

前記近接センサが、前記移動局が発信無線電話呼を開始するときに手動にて起動される、請求項1に記載の移動局。

【請求項6】

前記所定の範囲が、約5cmであり、前記外部物体が、

ユーザの耳と、

ポケットとからなる群から選択される、請求項1に記載の移動局。

【請求項7】

移動局において電池電力を節約して使う方法であって、

前記移動局が着信無線呼を受信するときに、近接センサを自動的に起動する工程と、

前記移動局のディスプレイが外部物体の所定の範囲内にあるとき、そのことを前記近接センサで感知する工程と、

それに応答して、前記ディスプレイの電力消費の削減を引き起こす工程とを含む方法。

【請求項8】

前記移動局が発信無線電話呼を開始するときに、前記近接センサを、前記移動局のキーパッドとのユーザの相互作用に基づいて手動にて起動する工程をさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記電力消費の削減を引き起こす工程が、前記移動局が前記電話呼の間に用いられるかどうかとは独立して電力消費の削減を引き起こす処理からなる請求項1に記載の方法。

【請求項10】

移動局であって、

ディスプレイを備えたシャシと、

前記ディスプレイの電力消費を制御するよう構成された電力削減器と、

前記シャシに結合され、前記移動局が着信電話呼を無線にて受信するときに自動的に起動される近接センサであって、前記電話呼の間に前記ディスプレイが外部物体の所定の範囲内にあるとき、前記ディスプレイの電源切断を引き起こすように構成された近接センサとを備える移動局。